

児童相談所関連研修 法定研修「指導教育担当児童福祉司任用前研修」

【実施日】	【前期日程】令和6年8月2日（金）、令和6年8月5日（月） 【後期日程】令和7年1月31日（金）、2月3日（月）、4日（火）
【受講決定者数】	34名
【受講生の声】	・様々な視点からSVに必要な知識を学ぶことができた。今の制度になった成り立ちや歴史、医療的な観点、他自治体の取り組みなど大変勉強になった。同時に課題として感じる部分も多々あったため、その中で自分に何ができるか考え続けていきたい。 ・研修を受ける中で、改めて児童福祉司としての振り返りが出来、新たな学びもあった。また、その上で、今後自分がSVになった時に、どんなSVを目指していきたいのか、その留意点や注意点など、各グループの発表を聞き、とても勉強になった。研修で学んだことを所に持ち帰り、実践に生かしたいです。 ・新人職員への指導ポイントとしてだけでなく、自身のこれまでの対応を見直し、まだまだ勉強が必要であることを実感することができました。 ・職員育成の手法について、スーパービジョンの意味などについて、体系的に学ぶ事ができ、アセスメントや自己知覚についても重要な視点を学ぶことができました。 ・支援の質を保つため、向上させるために支援者自身が健全であることが大切であること、支援者自身が視覚的に自身の状態を把握出来ることは有効であると思いました。人材は組織の宝なので育成し、効果的に支援し、定着を目指すために、早速、研修内容を所内で共有したいと思います。 ・子どもの希死念慮が増えていると聞き、現場で働いていてもその実感がありました。虐待死だけではなく、そのように思う子供達の気持ちをどう受け止め、これからの生活を自立していけるかを考えていく必要があると思いました。